

春日部市の現状等について



平成29年9月26日
春日部市



春日部市の概要



○概況

平成17年（2005年）10月1日、旧春日部市と旧庄和町の合併により誕生した新「春日部市」は、都心から35km圏、関東平野のほぼ中央、埼玉県の一部に位置する（図1）。

面積は、66 km²となり、東西方向に東武野田線と国道16号が横断し、南北方向には東武伊勢崎線（東京メトロ日比谷線、半蔵門線、東急田園都市線乗り入れ）と国道4号・4号バイパスが縦断している。北は宮代町、杉戸町、南は越谷市、松伏町、西はさいたま市、白岡市、東は江戸川を挟んで千葉県野田市と接している（図2）。

○人口・世帯数

合計	236,081人
男性	117,349人
女性	118,732人
世帯数	104,454戸

※平成29年9月1日現在

図1 埼玉県の位置

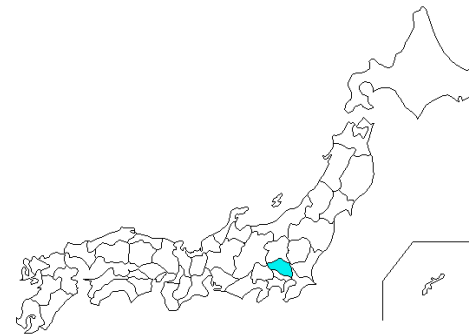


図2 春日部市の位置



○鉄道

市内には南北に延びる東武伊勢崎線と、東西に延びる東武野田線が乗り入れる春日部駅を中心として2路線8駅があり、良好な鉄道利便性を保っている。

市内で乗降客が最も多い駅は春日部駅であり、計8駅で年間約6,000万人の乗降客数となっている



イベント1

春日部藤まつり



- 日本最大規模の長さ約1 kmの藤棚

4月下旬の日曜日に春日部駅西口ふじ通りで開催されます。ふじ通りには多くの模擬店が並び、流し踊りなど様々な催しが盛大に繰り広げられます。

春日部大凧あげ祭り



- 国選択無形民俗文化財指定
- 畳、百畳分、縦15m・横12m、重さ800kgの大凧は日本最大級

江戸時代後期、養蚕の豊作の占いとして始まったと伝えられ、現在では初節句を迎える子どもたちの健やかな成長を祈願して行われています。



イベント2

春日部大風マラソン大会



- 1万人のランナー
- 市内中高生を含む900人を超えるボランティア

「春日部市」の名と伝統ある「日本一の大風あげ」を広く全国に紹介します。

春日部夏まつり



- 埼玉県内随一といわれる御輿パレードは25基もの御輿が練り歩く

7月13日に最も近い土・日曜日に開催される春日部夏まつりは、地域が一体となって作り上げる、春日部が全国に誇る祭りです。人出も20万人を超え、春日部が最も熱くなる2日間です。



春日部市の観光資源1

イベント3

春日部コミュニティ夏まつり



- 市民一人ひとりの手による手作りの祭り

8月下旬に、庄和総合公園で行われる夏のイベント。春日部市内で活動する団体による華麗な演技披露、また盆踊りも行われます。

春日部市大風花火大会



- 夏の夜空の祭典

平成29年度に、10周年記念大会を迎え、盛大に開催されました。コミュニティ夏まつりの後、色鮮やかな花火が夏の夜空を彩ります。

かすかべ音楽祭



- 日本有数の音楽のまち
- まち全体が音楽に包まれる

毎年11月を音楽月間と称し、「かすかべ音楽祭」、「まちかどコンサート」、「ジャズデイかすかべ」などが開催されます。



春日部市の観光資源2

景観 1

藤棚



- 日本最大規模の藤棚
- 222本の藤、延長約1 km

春日部駅西口のふじ通りには、222本の藤が、両側に植えられ、4月中旬から5月にかけて薄紫の花でいっぱいになります。

牛島のフジ



- 国の天然記念物
- 規模は国内最大、眺めは世界一

このフジは、樹齢1200年あまりで、幹周りは4m以上、藤棚の面積は800㎡もあり、4月下旬から5月上旬の花時の眺めは、世界一と賞賛されています。

桜（大落古利根川）



- 川の再生プロジェクト

大落古利根川緑道沿いの桜並木は、遊歩道や川の駅が整備されており、満開の時期には幻想的な風景が続きます。

景観2

日光道中「粕壁宿」



●日光道中第四の宿場町

江戸日本橋から千住・草加・越ヶ谷に続く、日光道中第四の宿場町で、町並みは、現在のかすかべ大通りにあたり、街では粕壁宿の歴史や時代背景をイラストで再現したシャッターアートが楽しめます。

古利根公園橋



- 全国初の橋上公園
- 一級河川大落古利根川に架かる全長79mの公園橋

「光と風」をテーマとし、麦わら帽子をコンセプトとしています。夜には、麦わら帽子のモニュメントがライトアップされ、一味違った景観が楽しめます。

ブロンズ



- 「彫刻のある街づくり」として22体の彫刻を設置
- 芸術的な都市景観

市内に点在する彫刻が都市景観に彩りを添えており、文化的なゆとりやうるおいを感じることができます。



春日部市の観光資源3



施設 1

春日部情報発信館 「ぷらっとかすかべ」



- 春日部市の観光窓口
- レンタサイクル貸出・赤ちゃんの駅

春日部市の観光情報、特産品などの魅力的な情報を発信しています。
また、観光のボランティア団体の拠点となっています。

埼玉県東部地域振興 ふれあい拠点施設 「ふれあいキューブ」



- 全国初の木造・鉄骨造のハイブリット構造
- 省CO2の最先端モデル

「都市の森の創造」をコンセプトに、産業の振興と地域住民の活動・交流を促進するための複合拠点施設として、平成23年10月にオープン。

道の駅「庄和」



- 都心に向かう4号バイパス最後の道の駅
- Let'sポタリング

農産物直売所、物産館、食事処「食彩館」などがあります。
また、無料レンタサイクルで、ポタリング（自転車で散歩）できます。



春日部市の観光資源3



施設2

春日部市総合体育館
「ウイング・ハット春日部」



- 自然エネルギーを有効活用
- 国体・インターハイ等全国大会会場

自然光の活用、風の利用、雨水の活用等、自然エネルギーを有効活用し、省エネルギー効果の高い施設にしています。また、高齢者・障がい者の社会参加に対応する施設にしています。

春日部第1児童センター
「エンゼル・ドーム」



- 郊外型児童センター

自然の中で子ども達が元気に遊べ、雨の日でも体を思う存分動かすことができます。

夏季期間には、噴水エリアやスライダーエリアを設置します。

春日部市郷土資料館



- 縄文時代の住居や粕壁宿を復元

郷土春日部の歴史と文化を紹介する施設で、竪穴式住居や粕壁宿の模型を展示しています。



春日部市の観光資源4

観光農園



●内牧発の春日部ブランドフルーツ「春日部甘熟梨」

四季折々の農作物（ナシ、ブドウ、柿、ブルーベリー、みかん、プラム、お茶、さつまいも、いちごなど）を収穫体験したり、直接購入できる農園が市内各所にあります。



春日部市の観光資源5

特産品 1

麦わら帽子



● 日本有数の生産地

市の中央を古利根川が流れ土地が肥沃な春日部は、昔から米や麦の生産地として栄えてきました。

多くの農家の副業として、手縫いで帽子を作りようになっただのが春日部の麦わら帽子の始まりといわれています。

春日部桐箆笥



● 経済産業省認定伝統的工芸品

桐箆笥は、江戸時代初期、栃木県の日光東照宮を造るために集まった職人が、日光道中の宿場町である春日部に移り住み、周辺で採れるキリの木を材料とした小物を作り始めたのが始まりであると伝えられています。

春日部桐箱



● 埼玉県指定伝統的手工芸品

日光東照宮を造るために集められ、春日部に移り住んだ優秀な職人たちは、豊富な桐材をもとに、庶民向けの小さな日用品を作り続けました。以来、300年もの間、その匠の技が受け継がれ、春日部の特産品として人気を呼んでいます。



特産品2

押絵羽子板



- 埼玉県指定伝統的手工芸品

押絵羽子板は、戦後にかけて、浅草の押絵師たちが戦禍と雑踏から逃れ、良質の桐の産地であった春日部に移り住んだことに始まります。

歌舞伎役者が見えを切ったときの表情や仕草などを躍動的に描きます。

春日部押絵羽子板と特産品まつり



- 春日部冬の風物詩といえば・・・
- 市内の特産品が一同に集結

毎年12月下旬に春日部駅東口改札前にて行われ、春日部の特産品である押絵羽子板、桐筆筒、桐小箱、麦わら帽子のうち、押絵羽子板を中心に、PRおよび販売を行っています。

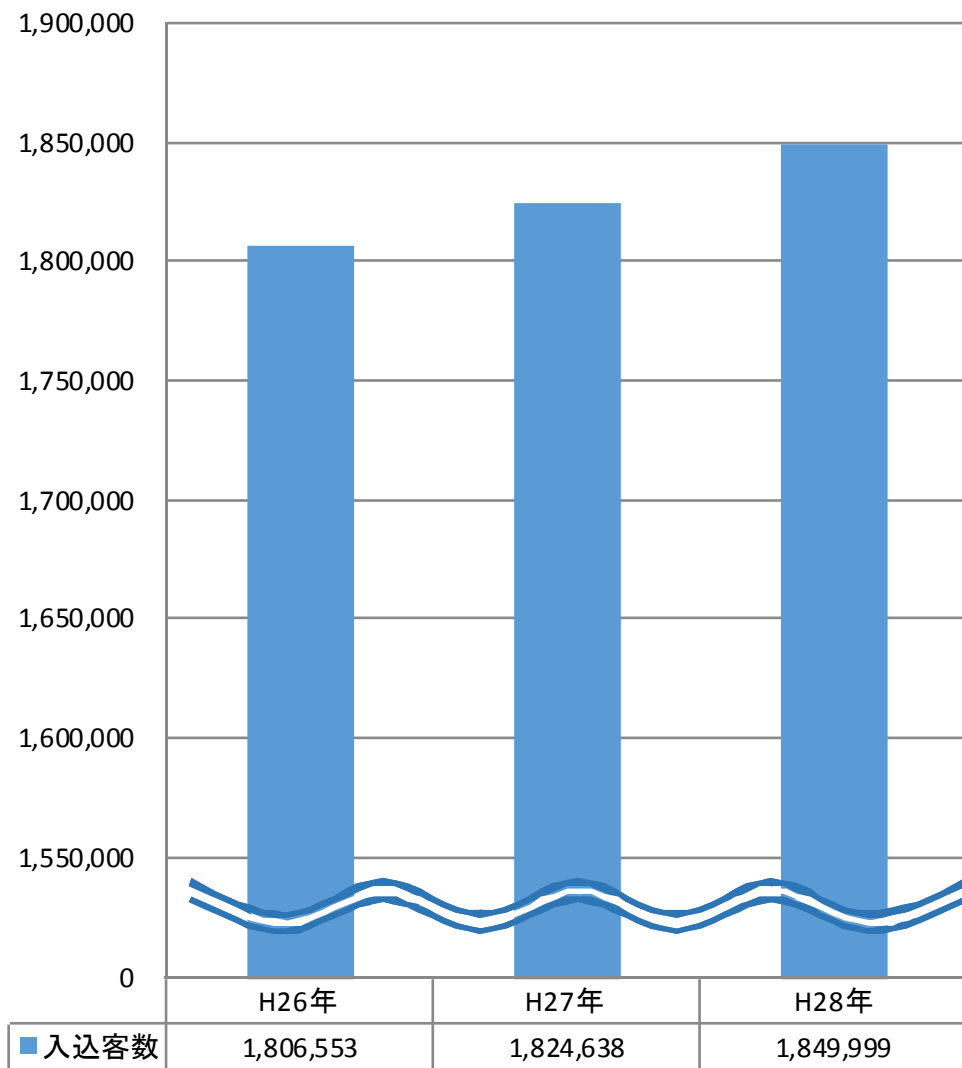
実際に職人さんとふれあいながら、購入することができます。約1万人の人でにぎわいます。



入込客数の推移



入込客数



<集計対象施設・イベント・まつり>

○施設

- ・藤花園
- ・かすかべ湯元温泉
- ・道の駅「庄和」
- ・首都圏外郭放水路「龍Q館」

○イベント・まつり

- ・春日部藤まつり
- ・春日部大凧あげ祭り
- ・春日部大凧マラソン大会
- ・春日部夏まつり
- ・春日部コミュニティ夏まつり
- ・春日部市大凧花火大会
- ・かすかべ商工まつり
- ・春日部市庄和地域産業祭
- ・春日部市農業祭
- ・春日部押絵羽子板と特産品まつり
- ・ジャズデイかすかべ
- ・粕壁エイサー



○観光の現状

- 一年を通して常に市内でイベントが開催されている（図1）
- 伝統的な祭事だけでなく、文化・自然・スポーツ等、様々なイベントがある
- 四季折々の自然を満喫できるスポットが市内に点在している
- 幅広い世代が訪問する可能性を持っている

図1 市内で開催される主なイベント

開催日	名称
4月の最終週	春日部藤まつり
5月3日・5日	春日部大凧あげ祭り
5月4日	春日部大凧マラソン大会
4月、11月の土曜日	ジャズデイかすかべ
6月上旬	粕壁エイサー
7月の13日に近い土曜日・日曜日	春日部夏まつり
8月下旬の土曜日	春日部コミュニティ夏まつり 春日部市大凧花火大会
10月中旬の土曜日・日曜日	かすかべ商工まつり
11月上旬	春日部市庄和地域産業祭
11月23日	春日部市農業祭
11月	かすかべ音楽祭・ まちかどコンサート
12月下旬	春日部押絵羽子板と 特産品まつり

○今後の課題

- 年間を通じて来訪してもらえる取組
- 地域ブランドの発信
- 訪日外国人に来訪してもらえる取組
- 点在する観光資源の連続性



外郭放水路と連携した回遊性の向上



KASUKABE

